

＝古文書にみる上石津での新田開発＝

江戸時代の元禄期（1700年頃）頃、徳川幕府は財政が非常に厳しくなりつつありました。そのような中で財政再建策の重要施策として、八代将軍徳川吉宗は享保7（1722）年、新田開発奨励の高札を江戸日本橋に掲げ、豪商の力を借りるなどして、大規模な開発を促進しました。

江戸で新田開発奨励の高札が掲げられて以来年が過ぎること50年、明和年間（1764～1771）に当地でも新田開発が行われていた様子を、古文書からひもとくことができます。大規模な新田開発が概ね終わり、当地のような小規模な開発にも目が向けられるようになってきたのかもしれない。

今回紹介する文書は、明和年間に上石津町上原地内の猿海道や用之川原の畑や荒地に用水を通し、水田にしようとする内容が記されたものです。

現在は、圃場や用水も近代的に整備され、立派な水田が広がっていますが、約250年前に先人が苦勞をして行った新田開発の様子を偲んでいただければと思います。

- 1 会 期 平成 27 年 11 月 21 日（土）から平成 27 年 12 月 21 日（月）
- 2 会 場 上石津郷土資料館新館展示室
- 3 開館時間 午前 9 時 30 分から午後 5 時（入館は、午後 4 時 30 分まで）
- 4 休 館 日 毎週火曜日（火曜日が祝日の場合は水曜日、ただし 11 月 25 日は休館）
- 5 入 館 料 一般 100 円（高校生以下は無料、20 人以上の団体は半額）
- 6 展示内容 新田開発の様子を記した古文書、その解説、現地の写真など

問い合わせ 上石津郷土資料館 〒503-1625 大垣市上石津町宮 237-1
TEL：0584-45-3639 FAX：0584-45-3639

